

令和7年度 事業計画

自 令和7年4月 1日

至 令和8年3月31日

令和7年度の世界経済は、引き続き不確実性の高い状況が続くと予想される。米国の金融政策の行方、中国経済の減速、地政学的リスクの高まりなどが成長の不透明要因となると見込まれる。日本経済も、緩やかな回復基調を維持しつつ、引き続き円安やエネルギー価格の変動、労働力不足などの課題に直面する年になることが予想される。

このような環境のもと、中小企業においては、持続可能な経営基盤の確立が急務となっている。特に、DX化や人材の確保・育成への取り組みが重要となる。

このような認識のもと、福機連においては、会員及び組合員企業の一層の成長に向けて、次のような事業を実施する。

I 実施事業

国・県等の行政機関や関連団体等が主催する「ものづくり」に関するイベント開催情報を提供し、技術力・経営力の向上を目指して積極的に参加し、イベントの後援、協賛団体として参加するとともに、周知徹底を図っていく。

また、行政施策等に関する情報提供や支援策などの情報提供を迅速かつ的確に行っていく。

<近代化・高度化対策>

景気の先行きに不透明感はあるが、地域経済と雇用を担う中小製造業の発展につなげていくために、関係機関と連携をより強化するとともに、迅速で的確な情報収集に努めていく。

<安定・振興対策>

- (1) 国や県等が実施する融資制度や助成制度など、中小企業支援策について、迅速な情報提供に努める。
- (2) 中小・小規模事業者へ向けた国や県の資金支援策や相談窓口の案内などの情報提供を迅速に行う。
- (3) 労働福祉対策として、雇用対策や安全対策等に関する法令改正や施策等についての情報提供に努める。
- (4) 機関誌「福機連だより」を年2回発行・配布する。
- (5) 公的機関・団体が実施する技術研修の日程等の情報提供を行う。
- (6) 関係団体等が開催する研修会・講習会などについて情報提供を行う。

Ⅱ 共益事業

＜近代化・高度化対策＞

- (1) (独)中小企業基盤整備機構九州本部・中小企業大学校九州校、(独)高齢・障害・求職者雇用支援機構福岡支部の各ポリテクセンター・大学校の受講料の助成、また、会員が実施する「共同研修事業」への助成については、成長戦略分野への進出やグローバルな競争が激しくなる中、ますます人材育成が重視されるため引き続き実施する。
- (2) (独)高齢・障害・求職者雇用支援機構の生産性向上人材育成支援センターの受託事業については、同センターが提供する生産性向上支援プログラムが会員、組合員の生産性向上支援に資するものであると認められるため、引き続き実施する。
- (3) 商工中金経済研究所発行の「景気予報」を年２回配布する。

＜安定・振興対策＞

D X、カーボンニュートラル、S D G sなどの喫緊の課題に対応し、組合員企業の安定・振興を図るため、行政機関が運営する委員会、協議会や関係団体等が主催するセミナーなどに積極的に参加する。

＜建議陳情＞

機械金属工業の持続的な発展を図るため、アンケートを実施し、会員・組合員より寄せられた課題、問題点を取りまとめ、福岡県知事あての要望書を提出する。

Ⅲ その他の事業

＜組織強化対策＞

- (1) 会員及び組合員確保に努める。
- (2) 各ブロックの円滑な事務処理に資するため、事務委託費を交付する。

＜収益事業＞

福機連所有事務所物件（はかた近代ビル３F）を一般企業に貸与する。